

《担当者名》今井常晶 imai@hoku-iryo-u.ac.jp

【概要】

この科目は、時間経過に伴う人間の発達過程について学ぶ科目である。

【学修目標】

(一般目標) 将来子どもに関わる言語聴覚士として働くために、人間の行動を発達の観点から理解する。

(行動目標) 我々の心がどのように形作られ、どのように成長・変化していくかについて学び、発達心理学の知見を発達援助の臨床場面に活かす際の視点について説明できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	オリエンテーション	発達の観点から人を理解することの重要性について知る。	今井常晶
2	乳児期の発達	赤ちゃんが持っている能力について、主に知覚面・運動面の様相について理解する。	今井常晶
3	乳児期の発達	母子のコミュニケーションを通じた愛着の形成や母子関係の成立について理解する。	今井常晶
4	乳児期の発達	言語の獲得に至るまでの様相を理解する。	今井常晶
5	幼児期の発達	遊びの広がりや仲間関係の発達について理解する。	今井常晶
6	幼児期の発達	描画の発達や読み書き能力の獲得の様相について理解する。	今井常晶
7	児童期の発達	思考の発達と社会性の発達について理解する。	今井常晶
8	青年期の発達	アイデンティティ形成などの青年期の課題について理解する。	今井常晶
9	成人期・中年期の発達	ライフイベントや中年期の心理的危機について理解する。	今井常晶
10	老年期の発達	老年期の特徴や心理的变化について理解する。	今井常晶
11	情動交流と言語発達	対人交流の側面から見た言語獲得について理解する。	今井常晶
12	認知発達と言語発達	認知の発達から見た言語獲得について理解する。	今井常晶

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部(研究科)、学校の授業実施方針による

【評価方法】

定期試験100%

試験実施後、問い合わせがあった場合に模範解答を開示する。

【教科書】

無藤隆 他 編 「よくわかる発達心理学」 ミネルヴァ書房 2009年

【学修の準備】

指定されたテキストの関連する項目をあらかじめ読んでおくこと(80分)。

授業終了後、配布資料をテキストと照らし合わせて学習を深めること(80分)。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

(DP3) 言語聴覚士として必要な科学的知識や技術を備え、心身に障害を有する人、障害の発生が予測される人、さらにはそれらの人々が営む生活に対して、地域包括ケアの視点から適切に対処できる実践的能力を身につけている。

【実務経験】

発達障害児に対する言語聴覚療法の実務経験あり(言語聴覚士)

【実務経験を活かした教育内容】

すべての回で、関連した事例を話題提供する。